

那覇西ロータリークラブ

国際ロータリー2580地区 創立1962年6月4日

2021年11月24日 週報 第2641号



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

那覇西 RC 年間テーマ
「沖縄の未来のために
地域に貢献しよう!」

プログラム案内

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を
深めるか
4. みんなの為に
なるかどうか

本日のプログラム

11月24日(水)

- ・点鐘
- ・ロータリーソング
- 日も風も星も
- ・会長報告
- ・幹事報告
- ・立食
- ・次回予定
- 12月1日
- ・年次総会

例会報告

第2758回(2021年11月17日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
56名	35名	17名	68%	67%

欠席会員

上原、大城(博)、宮内、福重、久保、渡慶次、丸橋、大田、石垣、堀井、水城、比嘉(良)、照屋(紀)、関根、照屋(圭)、松野下、瑞慶山会員

ビジター

遠藤茂敏(台北城東)

ゲスト

遠藤町子(ご家族)

ニコニコBOX

合計¥4,000 累計¥175,000

城間久美子 豊村会員卓話楽しみにしております。

豊村良春会員の卓話を楽しみにしています。

会長 慶佐次 操 副会長:比嘉芳直・大庭 憲

幹事:平尾慎一郎

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 沖縄ハーバービューホテル

事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階

TEL:861-7824 FAX:861-7825

11月度お誕生日祝い

照屋圭太(11月6日)

名城政次郎(11月16日)

福重 勉(11月18日)

瑞慶山秀彦(11月21日)

会長報告

慶佐次 操



皆様こんにちは、本日3件のご報告を申し上げます。

I. 2022年2月16日(水)に那覇西RCはオープン例会を予定しています。間近に迫ってきていますので、会員の皆様にてゲスト参加者を募って頂けますようお願い申し上げます。参考までに那覇南RCが11月8日(月)にオープン例会を開催し、豊見城市長 山川氏を始め、17名のゲスト参加者で新城ガバナ補佐に卓話いただき、総勢40名あまりの参加者で盛り上がりを見せたようです。

II. 2022年4月13日(水)に那覇西RC60周年式典・祝賀会が予定され、目下実行委員会にて企画中であります。既に石垣RCとコザRCの2クラブの60周年式典・祝賀会を参考の上、那覇西RCに相応しい企画案に期待する処です。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

III. 11月11日(木)付の沖縄タイムスにて当クラブ会員に係る記事3件をご紹介します。

①三井住友海上火災の新見 吉晴執行役員九州本部長と中野 昇沖繩支店長(当クラブ会員)が就任あいさつに訪れました。

②鹿児島銀行の松野下 秀峰支店長(当クラブ会員)が着任挨拶で訪れました。

③弁護士 久保 以明氏(当クラブ会員)が法務のコラム欄に取り上げられていました。当クラブ会員が職業奉仕として公報・公共イメージの向上に一役を担うものをご報告します。

ポール・ハリスフェロー表彰

比嘉広明会員

数年前から、毎月飲みに行ったつもりで貯金しており、3カ月毎に寄付しています。今後も何らかの形で世の中に貢献していきたいです。



幹事報告

幹事報告は特にありません。IMは名護で開催予定であり、3名参加予定です。それ以外の方はYOU TUBEにて配信予定です。皆で集まって、鑑賞するかはまた報告いたします。

新会員紹介

新 会 員 小豆澤卓也

生 年 月 日 1976年3月29日

会 社 名 テンプスタッフフォーラム (株)
沖縄オフィス

役 職 名 沖縄オフィス長・エリア長

趣 味 釣り・スポーツ全般・キャンプ・登山
カラオケ・お酒



卓話

豊村 吉春 会員 「ロータリーの友を学ぶ」

「ロータリーの友」についての話をする前に、ポリオについての話をしたいと思います。当RCのメンバーである大仲良一先生、以前に退会された大宜見齊さんが積極的に関わってられました。

国際ロータリークラブが1985年にWHOとポリオ撲滅推進



運動を組織し、後にビル&メリンダ・ゲイツ財団も加わり、ポリオの撲滅・根絶活動を継続しています。発症数は99.9%まで減少し、アフガニスタンとパキスタンの2か国のみとなっ

ております。この運動に沖縄から積極的に関わられた大仲氏、大宜見氏の両名は1988年には実際に南インドにおいて活動をされました。現地でのポリオワクチンの接種状況の把握や、後遺症患者の実態とリハビリの現況調査、ワクチンのコールドチェーンの有効性調査などを行っております。これは現地のロータリークラブとの協力を受け、WHOやユニセフへの報告を目的としておりました。また、その翌年には後遺症患者を1名、南インドから受け入れされました。宗教上の問題や、食生活の配慮など、相当な困難があったようですが、最終的には杖なしでの歩行や、手すりを使った階段の上り下りなどの成果を残し、帰国されました。これらのごことに、現地でのコインバトルRCは深甚なる感謝の意を表し、「DR. OHNAKA MEMORIAL SCHOLARSHIP」

(大仲奨学金)を設け、毎年3名の医学生に奨学金を貸与しています。

「ロータリーの友」についてですが、創刊当時は日本に地区は二つだけでした。現在は34地区あります。特色として、横書きと縦書きの記事が混在しています。横書きの記事はR1からの情報や指定の記事で構成されています。縦書きの記事は国内のロータリアンの交流の場として利用されており、コミュニケーションの場として利用されています。毎月9万部ほど発行されており、ぜひ皆さんも手に取って、隅々まで購読いただけると、より一層ロータリークラブへの理解が深まるものと思います。